

自転車日本一周中の矢北嘉杜さんと生徒会が交流会を開きました

8月24日（金）に本校生徒会の5名が自転車で日本一周をしている宮崎県日向市出身の矢北嘉杜（やぎたひろと）さん（19歳）との交流会を行いました。矢北さんは7月16日に宮崎県日向市を出発して県庁所在地をまわりながら自転車で日本一周をしており、本校に到着した24日が40日目になるそうである。日向市成人式の実行委員会のメンバーとして2019年1月の成人式で自転車日本一周旅行の報告をすることになっている矢北さんは、本校生の前で旅の目的や体験を話すことで自分でも勉強になったそうである。

地元の日向工業高校を卒業し、自衛隊に入隊した矢北さんは、6か月の研修期間中に人材派遣会社など複数の起業体験のある同僚と知り合い人生が変わったそうである。元来ポジティブ志向の矢北さんだったが、卒業後人助けがしたいと自衛隊に入ったものの、やりたいことがたくさんありすぎて何をどうやっていいかわからなくなっていたそうである。でもこの出会いで「やれることからやってみよう」と再びポジティブ志向が動き出し、研修終了後に自営隊を辞め、9か月間自動車工場で働いて150万円の資金をため、「自転車日本一周」をスタートさせたそうである。日本一周の他にも「地元で起業」「福祉活動」などたくさんの夢があった矢北さんは、「まずやれることからやる。次の目標はやりながら考える。」と「自転車日本一周」を夢の第一歩に決めたそうである。



7月に地元に戻り日本一周の経験を成人式で話したいと成人式実行委員のメンバーに加わった。そこで第2の出会いが訪れる。実行委員会の会合で日向市産業支援センター「ひむかーBiz」のセンター長、長友氏との出会いだ。長友氏は起業を支援するプロで、「どうせなら地元の産物をPRしながら日本一周して起業のアイデアも考えてみたら」と起業への手がかりもつかむことができたという。矢北氏の中には既にいくつかの起業のアイデアが浮かんでおり宮崎についたら長友センター長に相談してみたいという。

自転車の後ろに「日本一周中」と書いたホワイトボードを付けて走っていると、毎日誰かに「頑張って」と声をかけられるという。基本的に宿泊は道の駅にテントを張ることが多いが、「泊まっていけ」と宿泊させてくれた方が3人いて、そういう人は決まって「ポジティブ思考の人」だったという。そのうちの一人は、歩いて日本一周したことがある20代の若者で今は農業をしながら海外の恵まれない人に支援をする活動を続けているそうである。

矢北さんのポジティブ思考にあふれる話を聞きながら、生徒たちも大いに刺激を受けたようだ。生徒会長の松田純麗さんは「自分も高校でやりたいことがあってその一つが生徒会長になることだった。矢北さんの話を聞いて勇気を頂いた。」と感想を語ってくれた。矢北さんは前述の日向市産業支援センター「ひむかーBiz」の支援を受けて圏域企業の特産品を世話になった人に配りながら旅をしており、本校生も恋愛運アップの「蛤基石ストラップ」を頂いた。矢北さんの旅の話聞いた後は、お互いに歓談し、最後に校舎の前で記念撮影をして別れた。

矢北さんの日本一周の様子は、ツイッターやインスタグラムでも見ることができるので興味がある人は以下をご覧ください。(インスタグラム：@hirossan1026, ツイッター：@Hirossan1026)

